

議案第3号 令和8年度 事業計画（案）について

- ・「観光ビジョン（協会）」と「観光振興戦略（市）」に基づき各種事業を展開する。
- ・令和8年度重点戦略
 - 1 北陸新幹線の開業効果を持続させるための各種事業の展開。
 - 2 「あわらならではの」魅力ある着地型旅行商品の造成と魅力ある商品の開発・研究を行う地域や団体等への支援、連携。
 - 3 効果的な情報発信と研究。

1. 出向宣伝及び誘客活動

①商談会等の実施	②物産展・観光PR会等への参加
・首都圏及び関西圏、中京圏の旅行会社を対象に観光情報を提供し、あわら市への誘客促進を図る。 ・JR駅構内の旅行会社と共同した誘客活動を行う。	・「坂井・あわらエリア周遊滞在型観光推進協議会」や「ふくいやまぎわ天下一街道協議会」等の広域連携による物産展や、関西圏での観光PR会へ参加する。 ・「北陸三県誘客促進連携協議会」が行う「冬的美食フェア」等での、関東圏での観光PR会へ参加する。

2. 情報発信・プロモーションツール整備

①WEB及びNET広告を活用した情報発信	②ホームページ・パンフレットを活用した情報発信
・WEB広告・Instagram広告での展開。 ・旅や温泉に興味のある20代～50代の女性にターゲットを絞ったNET広告の展開。 ・イベントバンク等を活用した情報発信を図る。	・NET広告と協会ホームページを連動させ、より積極的な情報発信を図る。 ・旅行需要を更に喚起するため、観光ガイドブックを増刷して出向宣伝やイベントでの積極的な配布を行う。 ・インバウンドに対応したホームページとパンフレットによる情報発信を行う。
③SNSを活用した情報発信	④プロモーションツール整備
・あわら市内の魅力や最新情報を県内外に継続的に発信することで、あわら市の認知度向上を図る。	・観光PR用に使用する配布袋やノベルティに、あわら市公式キャラクター湯巡権三を活用し、他地域との差別化を図る。

3. 商品企画

観光周遊商品造成
・教育旅行市場を対象として、金津創作の森美術館や北潟湖でのカヌー体験等、地域資源を活用した「あわらならではの」観光商品の造成に向け、関係者との連携体制の構築および支援を実施する。 ・個人旅行市場を対象として、浴衣体験や地酒ペアリング体験等の体験型コンテンツの高付加価値化を図るとともに、あわらみらいプロジェクトへの協力、産学連携による新たな観光商品の企画・開発を推進する。

4. マーケティング活動調査

①観光客アンケート調査・分析 (プレミアムパネルアンケート調査)	②あわらファンクラブの活用・顧客情報管理
・企画立案のための基礎データとして、携帯電話等を活用したあわら市・あわら温泉の観光アンケートを行い、観光客の行動や消費意欲などの把握、分析を行う。	・顧客情報の収集と集積した情報の活用。 ・あわら市へ関心・興味がある会員に向けた積極的な情報発信を行う。

5. 観光施設管理

①街路灯及び観光看板の維持管理	②街路樹などの維持管理
・街路灯や既設看板、広告の適正な維持管理を行う。 ・来訪者に判りやすく景観に配慮したサイン整備について市と連携して促進を図る。	・温泉街街路樹の剪定など適正管理を行う。 ・市街地装飾としてあわら湯のまち駅前花壇の整備支援を行う。

③あわら温泉湯のまち広場施設管理
・あわら温泉湯のまち広場「芦湯」「あわら市伝統芸能館」「藤野巖九郎記念館」の適正な管理運営と、来訪者の満足度向上につながるサービスの提供を行う。市が実施するあわらみらいプロジェクト（社会実験）の支援を行う。

④観光案内所管理運営業務
・芦原温泉駅観光案内所、えちぜん鉄道あわら湯のまち駅観光案内所の適正な管理運営と観光コンシェルジュの育成を行い来訪者へのサービス向上に努める。

6. 新幹線特別会計

・北陸新幹線開業効果の持続及び更なる誘客促進を図るため、引き続きあわら市と連携し、MaaS（Mobility as a Service）実証事業を通じて、スマートフォンアプリを活用した二次交通との連携強化やデジタルチケットの導入・運用に向けた仕組みづくりに取り組む。 ・観光分野において継続的な需要が見込まれる「ウェルビーイング」の視点を取り入れ、地域資源を活用した観光コンテンツの研究及び商品開発を推進するとともに、関係事業者等との連携及び支援を行う。
--